2025年度公益社団法人日本臨床細胞学会事業報告

1. 臨床細胞学に関する学術研究の推進並びに学術集会の開催

① 学術集会等を通じた研究・教育の普及および広報

1) 第66回（2025年）春期大会　田畑 務大会長

会期： 2025年6月27日(金)～29日(日)

会場：京王プラザホテル

2) 第64回（2025年）秋期大会　有廣 光司大会長

会期：2025年11月29日(土)～30日(日)

会場：広島国際会議場・広島市文化交流会館

② 研究活動への助成による学術研究

班研究課題選考を公募し、3題の応募があった。学術委員会選考会にて審議した結果真理谷 奨(まりや たすく)氏が採用された

③ 学会研究活動

「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究」について2022年度末に研究は終了し、2023年度より論文作成を継続中

④ 学会賞・技師賞・最優秀論文賞の授与およびその論文発表

◆学会賞　（応募者1名）　岡本(おかもと) 愛光(あいこう)

◆技師賞学術部門　（応募者2名）　安倍(あべ) 秀幸(ひでゆき)

◆技師賞功労部門　（応募者3名）　濱川(はまかわ) 真治(しんじ)

◆最優秀論文賞（応募者　和文4名・英文11名）：現在選考中

2. 臨床細胞学に関する教育普及事業

①講習会およびセミナーの開催

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第134回細胞検査士養成講習会	2025年7月14（月） ～7月26日（土）	場所：杏林大学保健学部実習室 (井の頭キャンパス) 実行委員長:阿部　仁(がん研有明病院)
第50回細胞診断学セミナー	（WEB講義） 2025年9月8日（月） ～9月26日（金）	実施委員長：教育委員会委員長
第85回細胞検査士教育セミナー	（WEB講義） 2025年10月10日(金) ～10月27日（月）	実施委員長:棚田　論(大阪国際がんセンター　医療技術部臨床検査部門)

第 90 回細胞検査士ワークショップ	（鏡検実習日） 2025 年 9 月 27 日(土) （WEB 講義） 2025 年 9 月 22 日(月) ～10 月 6 日 (月)	場所：新潟大学医学部医学科実習室 3-A 実行委員長:遠藤浩之(済生会新潟病院　病理診断科)
第 91 回細胞検査士ワークショップ	（鏡検実習日） 2026 年 3 月 15 日(日) （WEB 講義） 2026 年 3 月 9 日(月) ～2026 年 3 月 23 日(月)	場所：川崎医療福祉大学 実施委員長:藤田　勝(倉敷成人病センター　病理科)

3. 臨床細胞学に関する渉外・広報事業

① 診療報酬改定に係る活動を行った。

1) 子宮の日：都道府県にて子宮頸がん検診推進活動を行った。

2) ＨＰを通じての広報活動を行った。

3) 関連他団体との連携

4. 臨床細胞学に関する細胞診専門医並びに細胞検査士の資格認定、更新に関する事業

① 2025 年度細胞診専門医の資格認定

1）資格認定者数　89 名

2）資格更新者数　659 名

② 2025 年度細胞検査士の資格認定

1）資格認定者数　326 名（内学生受験合格者　88 名）

2）資格更新者数　252 名

③ 教育研修指導医の資格認定

1) 2025 年度教育研修指導医の資格認定者数　34 名

2) 2025 年度教育研修指導医の資格更新者数　47 名

5. 細胞診断の質を維持、向上させるための施設認定、研修に関する事業

① 細胞診を用いた検診等を実施する団体等への施設認定および細胞診専門医を育成するための教育研修施設認定

1) 2025 年度施設認定

・新規施設認定　　5 施設

・総認定施設数　　850 施設

・認定資格更新　　76 施設

2) 2025 年度教育研修施設認定

・新規施設認定　　0 施設
・総認定施設数　　329 施設
・認定資格更新　　3 施設

② コントロールサーベイ（外部精度管理）は、2 年ごとに実施のため 2025 年度は実施なし。
2026 年度から WEB 化実施に向けて準備を行った。

③ 内部精度管理を内部精度管理 WG のもとで 2025 年度中に実施
実地調査 3 施設。書類調査 2 施設。

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業

① IAC 資格認定試験実施、資格更新や連携（合同シンポジウムの開催など）
1)2025 年度 IAC 資格更新者数　29 名

② 細胞検査士資格認定試験のあり方に関するワーキンググループ

③ 子宮頸がん検診における細胞診判定の在り方に関するワーキンググループ

④ 細胞アート展を実施

⑤ 地域連携の活動

⑥ 国際交流事業（日韓、日タイ、日米の共催事業、カンボジアへの支援を実施）

⑦ 2028 年度総会春期大会・秋期大会大会長選出

⑧ JHU-ASC-JSCC joint cytopathology course（合同ワークショップ）を実施

⑨ ICC2025 トラベルグラント

⑩ アジア細胞学会連合（AFCS）担当ワーキンググループ設立

7. 法人の運営体制の充実を図るための取組

① 運営体制の充実を図るため、外部監事・監事より理事会（年 4 回開催）および監査会
(年 2 回開催)にて、役員会の運営、法令遵守、内部統制の状況について点検を受け、改善に向けた助言を踏まえて運営体制の改善を務めた。

② 個人情報管理について、適切な運営を行うため、規約の改定とガイドラインを作成した。

事業報告における附属明細書

2025 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。